

令和6年度 第2回 教育委員会臨時会 会議録

1. 招集日時 令和7年2月14日(金) 午後1時30分
2. 招集場所 西郷村文化センター 西郷村文化センター第2研修室
3. 出席委員 勝又 千賀子
佐藤 敏巳
村田 清
鈴木 忍
4. 説明のために出席した者
教育長 秋山 充司
学校教育課長 緑川 浩
課長補佐 高内 慎介
課長補佐(指導主事) 先崎 真奈美
専門主査兼施設係長 佐々木 達也
庶務係長 角田 淳史
村立西郷幼稚園長 石井 幸子
生涯学習課長 黒須 賢博
主幹 鈴木 美津子
課長補佐 塩谷 慎介
生涯学習係長 山崎 仁宏
体育振興係長 星 拓真

本委員会の書記

庶務係長 角田 淳史

5. 開 会 午後1時27分
6. 議 事
議案第14号 令和7年3月議会における議案について
7. その他

学校教育課長

それでは、改めまして、こんにちは。
定刻となりましたので、順序に従いまして進めさせていただきます。
ただいまより西郷村教育委員会第2回臨時会のほうを開会させていただきたいと思っております。
次に、教育長挨拶。秋山教育長、よろしくお願ひいたします。

教育長 (あいさつ)

学校教育課長

ありがとうございました。

それでは、議題のほうに入らせていただきます。

議題の進行につきましては、教育長にお願いしたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

議事

教育長

それでは、議題に入る前に、会期についてお諮りしたいと思います。

本定例会、本日1日としたいと思いますが、ご異議ございませんでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

教育長

異議なしと認めまして、本日1日とさせていただきます。

議案第14号 令和7年3月議会における議案について

教育長

それでは、議題に入りたいと思います。

議案第14号 令和7年3月議会における議案について、事務局より説明をお願いしたいと思います。

学校教育課課長補佐 高内（議案第14号を説明）

学校教育課専門主査兼施設係長 佐々木（議案第14号を説明）

学校教育課庶務係長 角田（議案第14号を説明）

生涯学習課生涯学習係長 山崎（議案第14号を説明）

生涯学習課体育振興係長 星（議案第14号を説明）

教育長

今、説明のほうをいただきました。

補正予算、それから来年度の当初予算ということで、主なものを説明ということでありましたけれども、何か議案についての質問がありましたらお願いします。

村田委員、お願いします。

村田委員

補正予算で、要保護児童数が減少して減額とありますが、対象児童が減っているのですか。

学校教育課課長補佐 高内

当初の見込みより児童数が減少したため、減額補正としました。

村田委員

わかりました。

次に、遠距離通学費の助成の基準を教えてください。

学校教育課専門主査兼施設係長 佐々木

4キロ以上の児童に対してバスなどの公共交通機関の定期代を負担するものです。

学校教育課課長補佐 高内

小田倉小学校と川谷小学校が該当になります。

村田委員

学校適正化事業はアンケート調査を行いますか。事業内容を教えてください。

学校教育課庶務係長 角田

7年度は900万円ほど委託料を計上し、アンケートは直営で行い、印刷製本費や郵便代を計上しております。

村田委員

スクールバスが増加しているのは、なぜですか。

学校教育課課長補佐 高内

業者が今年度までで、入札を予定しています。委託料が849万9,000円増額すると見込み計上しています。

村田委員

創立150周年は各学校にお任せするのですか。

学校教育課課長補佐 高内

11月の予算ヒアリングで各校の概算額を把握しました。学校の自主財源と補助を併せれば費用を賄えるよう学校の規模に応じて10～30万円を見込んでいます。予算が可決されたら要綱を整備したいと考えています。

村田委員

自主財源とはどういうものですか。

学校教育課課長補佐 高内

企業からの寄附金、PTA会費の積立金などです。

村田委員

知能検査費が予算計上されていますが、実施するものですか。

学校教育課課長補佐（指導主事） 先崎

知能テストは今もやっております。小学校2、4年生、中学校1、3年生でiチェックという子どもの心や学級の状態を知るものを行っています。

村田委員

今、IQを測ることが良いのかどうか、結果をどのように使うかの議論が出ていて、家庭に知らせますか。

学校教育課課長補佐（指導主事） 先崎

（数値は）知らせず、言葉でアドバイスしています。

村田委員

今は障害児のサービスでも、介護保険と同じように、どのぐらいの支援が必要かということで支援程度区分認定調査を行います。IQは、ラベリング、要するに差別化につながるとも考えられるので、今は児童相談でも施設判定をしていないようです。

今、IQテストをやるのはどういった意味があるのかと感じました。

学校教育課課長補佐（指導主事） 先崎

学力調査と知能テストの相関図を見ながらクラス替えの資料の一つにしています。

検査の値にこだわらず、指導者の振り返りや次年度への活用、保護者へは言葉でのお知らせをしています。

村田委員

難しい問題ですね。IQじゃなくてEQとか発達検査があり、何をやるか別ですね。いろいろ検査をしました。

学校教育課課長補佐（指導主事） 先崎

iチェックは自己認識、社会性や学級環境を調べます。他市町村も似たような検査をやっていて、白河市ですとQUと学力調査を合わせて行っており、本村はiチェックと学力調査を行っています。

村田委員

それを指導上のいろいろ材料として、先生方が使っているということですね。

学校教育課課長補佐（指導主事） 先崎

そうですね。その状況は保護者様にも併せてお伝えしているというように。

教育長

調べていきたいと思います。

村田委員

図書の会計区分は何にあたりますか。例えば、本を買うときは。

生涯学習課生涯学習係長 山崎

図書の購入につきましては、図書費の需用費消耗品で 115 万円ほど見込んでいます。

村田委員

650 冊ですか。

図書室全体、管理費、事務費など図書の運営管理にどのくらいかかりますか。

学校教育課課長補佐 高内

今回お出ししている資料は、教育費の教育委員会で管理する部分で、人件費は総務課、光熱水費は財政課と全体的なものが見えないのは、こういった理由です。

生涯学習課生涯学習係長 山崎

中央公民館図書館となっているので、建物の管理に文化センター管理費に含まれ、図書に関するイベントなど必要な経費は、282 ページに計上しております。

村田委員

図書館の人件費は。

学校教育課課長補佐 高内

図書の人件費、学校司書は会計年度任用職員として総務課で予算計上し、決算書で款の教育費で計上されます。会計年度任用職員は、一人大体 300～400 万円で 5 人雇用しています。

村田委員

ありがとうございます。

最後に 1 つ。幼稚園さんは来年何人ぐらい入所の予定ですか。

村立幼稚園長 石井

全体では 27 名になる予定です。

村田委員

27 名。3 歳からずっとで、全部で 27 名、年長まで。

村立幼稚園長 石井

はい。

村田委員

クラスの数是一緒ですか。

村立幼稚園長 石井

クラスは、今の時点では3クラス。年齢ごとのクラスになる予定です。

村田委員

はい、ありがとうございます。

教育長

ほかにございますか。

勝又委員、お願いします。

勝又委員

学校規模適正化事業について、決して予算の中で低くない1,300万円をかけるところですが、業者選定は入札ですか。

学校教育課長 緑川

プロポーザルで募集をかけ、1社応募があり審査に合格して決定しました。

勝又委員

合格点を取った業者さんに今回お願いするということですね。

今回もこの1,300万ということで、今後も続いていくのかと思いますが。

学校教育課長 緑川

今回は、令和6年度と令和7年度の2か年で、約1,300万になります。

勝又委員

あともう一つ、地域学校協働活動事業で、約1,000万の予算を取ってありますが、人件費は含まれていますか。

生涯学習課生涯学習係長 山崎

地域学校協働活動事業の人件費につきましては、毎月、村の一般職員とは別に報償を支払わせていただきまして、令和7年度の人件費、ボランティアの方に支払う金額としましては887万2,000円を計上しております。

勝又委員

ありがとうございました。全くボランティアでやっていたのかどうか分からなかったものですから、そこのところ含めてお聞きいたしました。以上です。

村田委員

地域移行について、これだけの数が移行できればすごいですね。

西の郷スポーツクラブから、スポーツ協会それぞれの水泳、バトミントン、卓球とかに振り分けるのですか。

学校教育課長 緑川

スポーツ協会とスポーツクラブ両輪でやっており、スポーツ協会でも指導者が見つからないという状態もあるので、事務局とスポーツクラブで指導者を探しながら、指導者がおられる部分から、校外競技として進めています。

村田委員

それぞれの協会はみんな違いますよね。

学校教育課長 緑川

15 団体くらいあり、卓球の中でもスポーツ協会に加盟団体がありますので、その中から指導者が選出されると思っています。

村田委員

昔、卓球協会をやっていた時、独自に中学生を教えていましたが、バトミントン部と卓球は、練習日などそれぞれ違っていて、どういう実施状況で引き受けてもらうのかなと気になりました。

学校教育課専門主査兼施設係長 佐々木

現在活動しています 4 種目は、基本的に土日の部活動の地域移行というところを優先的に進めています。平日は、その先にやっといこうと計画を練っているところで、通常、中学校の土日の部活動というのは土曜日の午前中が多いです。それを、今のところずらしたような形で、野球、ゴルフ、水泳、陸上をある場所に指導者さんに行ってもらって、いろんな方がそこに参加している状態で開催しています。

もう一つ、バトミントンの種目ですが、指導者さんが今回見つかって、別のパターンですが、川谷中学校にその指導者を派遣しております。川谷中学校の体育館でバトミントンの土曜日の午前中の練習を見ている状況になっております。パターンはいろいろございます。

村田委員

卓球をやっていた時は、練習日が木曜日の夜で、7時に中学生に来てもらって、大人と一緒にやっていたのですが、そういう方法も認められますか。

学校教育課専門主査兼施設係長 佐々木

現在そういった形で活動しているものは、スポーツ少年団として整理されています。部活動の後、5時から6時ぐらいにスタートして、また8時ぐらいまでやる。そちらは、見る方が保護者であったり、大学生であったり、中学生であったりで、スポーツ少年団という枠の中で活動しています。

教育長

学校の部活動を土日、スポーツクラブで対応していくことで、手伝ってくれる人はいるが責任を持つとなるとなかなか見つからない。今できることからスタートしていきまじょうと、バトミントンは川谷が部活動としてあり、指導者が出かけてやってみ

るという進め方をしており、7年度中にたくさんできればという思いがあります。

村田委員

土日は、原則は先生がそこには行かない。

教育長

行かない。土日、先生は携わらない。スポーツクラブに登録して兼職兼業を出して先生も指導者になれるという事です。

今、移行期であってどういう風になるか見えないのが正直なところです。

村田委員

中体連だってどうなるか、全国大会やらないような、そんな状況ですね。

教育長

それが、いろいろ論議を呼んで、委員会の中でもいろいろ意見は出て、基本、まず受皿をつくるという事。受皿をつかって、指導者を手がけていこうという所で、今後、どういうふうな動きになるのか、見えないところが大きいですね。

村田委員

分かりました。ありがとうございました。

教育長

中体連とか国の動きが見えない。先ほどもありましたけれども、国の補助を受ける申請をして今年やってみようかというところで、どこまで続けていくものかも見えなし、手さぐりの状態でいます。

村田委員

事故の責任を誰が負うかとか、あとその質ですね。

教育長

そうですね。だから、指導者を選ぶのは慎重にしていかなければならないし、スポーツ安全保険の加入と保険料を補助して、参加できるようにしているところです。

なかなかその責任を負ってやるという方が、定年も延長されたころもあり、65歳を過ぎてやってくれるというのは少ない。

ほかにありましたら。

よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

教育長

いろいろご意見ありがとうございました。

それでは、この内容で提案、議会のほうにしていきたいと思います。

それで、第14号議案につきまして確認させていただきます。

14号議案につきまして、賛成の方は挙手のほうをお願いいたします。
〔賛成者挙手〕

教育長

ありがとうございました。
14号議案につきましては承認されました。
議題については以上でございます。

終了 午後2時45分